

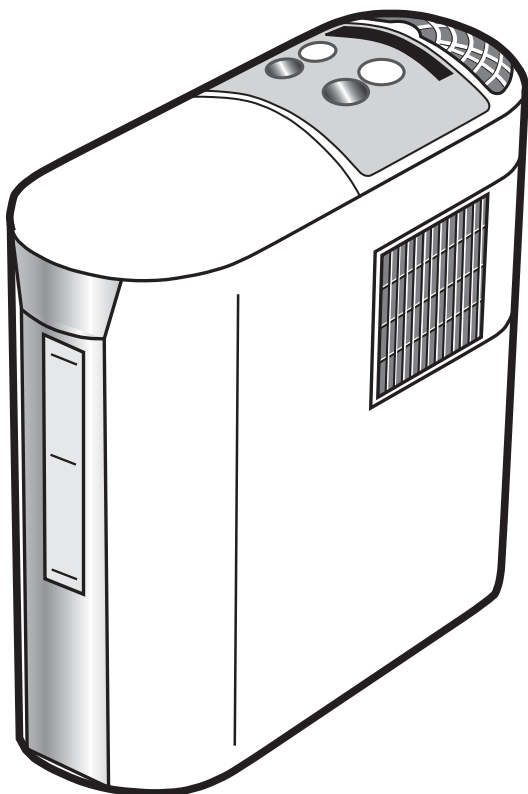
CORONA

コロナ加湿器 《ロータリー・ハイブリッド式(加熱気化式)》

(保証書付)
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。

取扱説明書

UF-H505R



このたびは、コロナ加湿器をお買いあげいただきましてありがとうございました。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。

なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

もくじ

ページ

1	安全上のご注意	1~2
2	知っておいていただきたいこと	3
3	各部のなまえ	4~5
4	ご使用前の準備	5
5	使いかた	6~8
	「省エネ自動」運転/「パワフル」運転/「おやすみ」運転	
	■ 運転と停止	6
	■ 切タイマー	7
	■ 設定湿度をかえるとき	7
	■ 水がなくなったとき	7
	■ 「マイナスイオン」運転	8
6	お手入れのしかた	9~11
7	保管	12
8	このようなときには	12
9	仕様	13
10	修理・保証	13
	■ お客様ご相談窓口一覧表	14
	■ 保証書	裏表紙



株式会社 **コロナ**

1 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生の可能性があるもの。

絵表示の例



⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



ⓘ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な行為の指示）が描かれています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

改造は絶対にしない
サービスマン以外の人は、分解したり修理しない



分解禁止

(火災・感電・けがの原因)
修理はお買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

本体を傾けたり、倒したり、本体に寄りかかったり、上に乗ったりしない
幼児の近くや、不安定な場所で使用しない



(ショート、感電、発火の原因)
倒したときは、差込プラグを抜いてください。

交流100V以外では使用しない



(火災・感電の原因)

幼児にマグネットプラグをなめさせない



(感電やけがの原因)

差込プラグやマグネットプラグ、プラグ受けのほこりなどは定期的にとる



(感電・ショート・発火の原因)

お手入りに塩素系、酸性タイプなどの洗剤は使用しない



(洗剤が残る、有毒ガスが発生して健康を害するおそれ)

差込プラグ、マグネットプラグは根元まで確実に差し込む



(感電・発熱して発火の原因)

水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水したりしない



(本体内部に水が侵入し感電・ショート・発火の原因)

水ぬれ禁止

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグも抜く
また、濡れた手で抜き差ししない



プラグを抜く

(感電やけがの原因)

空気吸入口や吹出口などのすき間やマイナスイオン発生器にピンや針金などの金属物など、異物を入れない



(感電や異常動作してけがの原因)

マグネットプラグ(磁石式)の先端にピンなど、金属片やごみを付着させない



(感電・ショート・発火の原因)

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



(感電・ショート・発火の原因)

水槽の水を排水するときは、本体から直接排水せず、水タンクを取り出してから水槽をはずし、加湿フィルターと除菌材をはずして水槽を傾け排水する



(本体内部に水が回り込んで、感電、ショート、発火の原因)

電源コードを傷つけたり、破損したり、引っ張ったり、束ねたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない



(電源コードが破損し、火災・感電の原因)

⚠️ 注意

使用中や運転停止直後は、お手入れなど本体内部に触れない

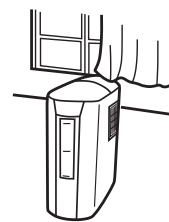


(ヒーター周囲の高温部やファンに触れたりしてやけどやけがの原因)

「給水」ランプ点灯中もファンが回転することがあります。

吹出口や空気吸込口をふさがない

(変形や故障の原因)



凍結させない

(感電や故障の原因)

凍結のおそれのあるときは、水タンクと水槽の水を捨ててください。



使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く

(けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)



プラグを抜く

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く

(感電やショートして発火の原因)



水が入った状態では、本体を持ち運ばない

(水漏れ・けがの原因)



●水タンクに水が入ったまま持ち運ぶと、水槽内の水位が上昇し運転時に水があふれ出る原因となります。

●持ち運ぶときは、水タンクや水槽の水を抜き、水タンクと水槽をセットした状態でおこなってください。

除菌材を幼児の手の届く所に置かない

(幼児が誤って飲み込むおそれ)



水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、加湿フィルターと本体内部は常に清潔を保つよう、「お手入れのしかた」にしたがい定期的にお手入れする

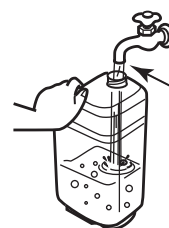


掃除せずに使用を続けると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭がする場合があります。まれに体質によっては過敏に反応し、健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

必ず水道水(飲用)を使う

(部品の変形・変質、故障、カビや雑菌の繁殖による悪臭の原因)

お湯(40℃以上)や浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは使わないでください。



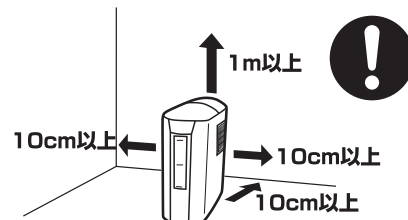
水道水

正しい置き場所

- 水平で振動のない安定した場所
- 吹出口から天井までの距離を1m以上、周囲の壁などまでの距離を10cm以上とってください

同じ場所で長時間で使用する場合は、製品の下の汚れにご注意ください

(カビ発生のおそれ)

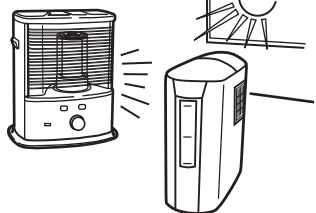


次の場所には置かない

**暖房器具などの近くで、高温になる所
輻射熱や温風を直接受ける所
直射日光のあたる所
油のつきやすい所**



(・プラスチック部品が変形、変質の原因
・センサーが正しく働かなくなるおそれ)



加湿器の吹出した風が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたり、周りに障害物がある所



(家具などにしみや変形が起きたり、故障の原因)



テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く



(テレビ・ラジオ・コードレス電話などに雑音が入る原因)

1m以上離してください。

スピーカーや電磁調理器など、強い磁気のあるものの近く、磁石のつく鉄板の上



(誤動作する原因)

電化製品の上



(転倒し感電・ショート・けがの原因)

2 知っておいていただきたいこと

●ハイブリッド加湿について

- ・加湿フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、風をヒーターで温めて気化を補助する「加熱式」を組み合わせたものです。
- ・運転開始時はヒーターによる温風ですばやく加湿し、設定湿度になるとヒーターを切り、室温の風により省電力で設定湿度を保ちます。
- ・部屋の湿度が高いほど、また温度が低いほど加湿量が少なくなります。
- ・加湿中でも蒸気や霧は見えません。（水タンクの水位が減っていれば加湿しています。）
- ・水が気化するときは空気から熱を奪いますので、室温より少し低い温度の風が出ます。

●湿度センサーはファンで部屋の空気を吸い込むことにより、湿度を検知します。このためファンの停止中は湿度の検知はおこなわれず、現在湿度の表示は変わりません。

●湿度センサーは暖房気流があたったり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。現在湿度の表示は目安としてお使いください。

●設定された湿度を保つため、現在湿度の表示が設定された湿度になっても加湿を続けているときがあります。

●本体を持ち運ぶときに「カラカラ」と転倒時運転停止機能用センサーのボールがころがる音がすることがありますが、異常ではありません。

●加湿の効率を上げるため運転中は約5分に1回加湿フィルターを回転し、上下を反転させています。このときに「カチッ」というスイッチの動作音や加湿フィルターがこすれる音がすることがありますが、異常ではありません。

●「マイナスイオン」運転時にマイナスイオンが発生するときの「ジー」という音がすることがありますが、異常ではありません。

●除菌材の表面が緑色に変色する場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用になれます。（汚れは布などでかるくふきとり水洗いしてください。）

お願い

●湿度の高い(70%以上)所では「パワフル」で運転しないでください。

湿度が高いときには、家具や床を湿らせたり、ぬらすことがあります。

●お子様やお年寄りには注意してください。

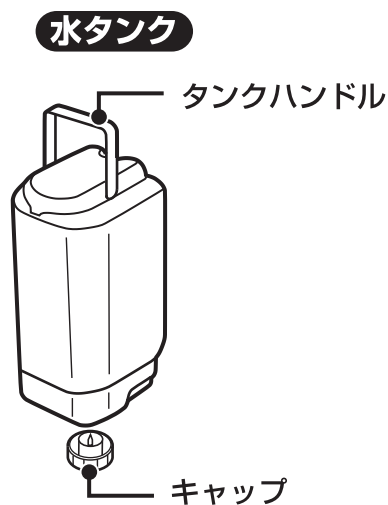
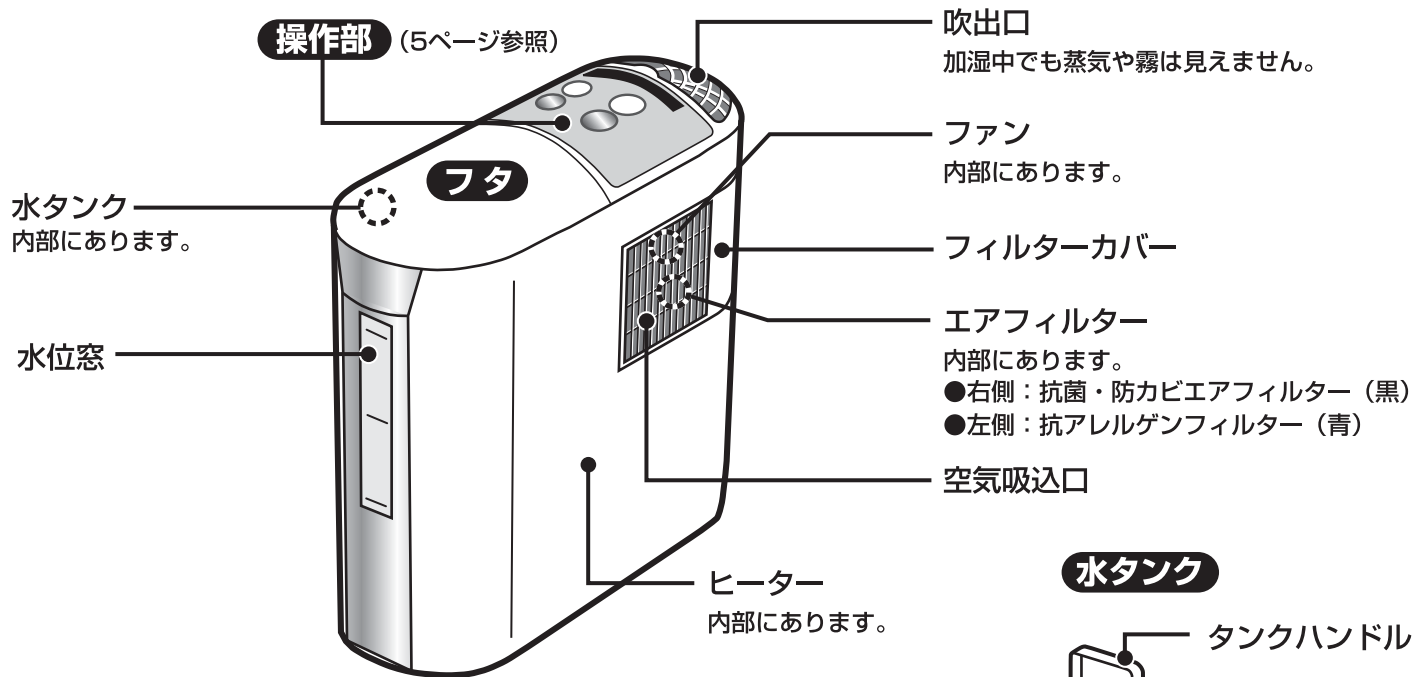
お子様やお年寄り、ご病人のおられるご家庭では、加湿のしすぎや、本体の取り扱いなどについて注意してあげてください。

●暖房を止めたときは「パワフル」で運転しないでください。

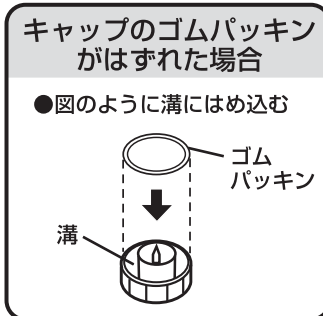
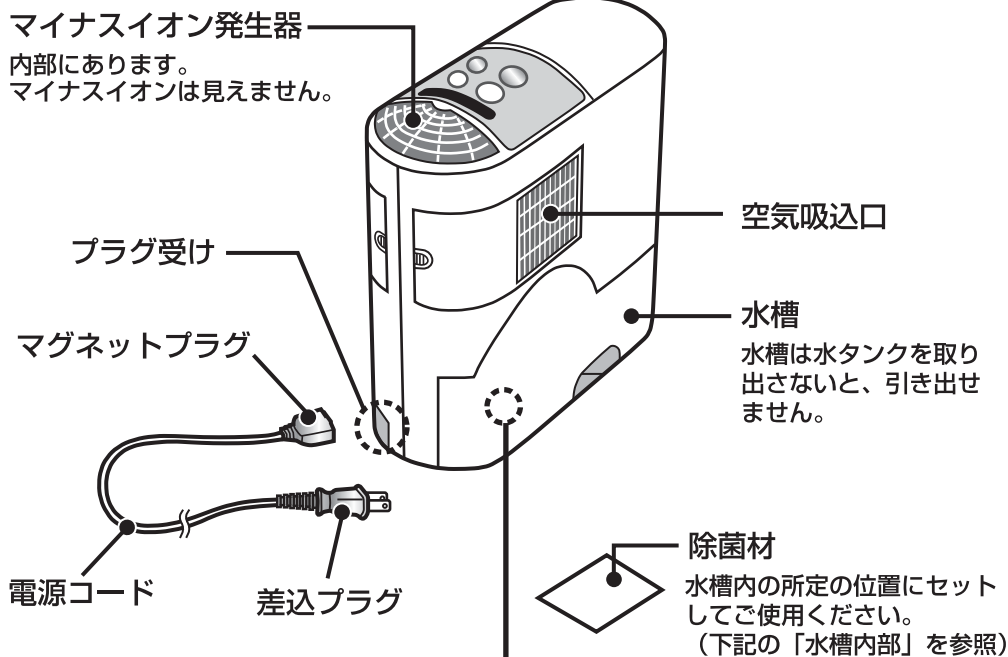
暖房を止めた部屋で使用すると、壁、天井に水滴がつくことがあります。おやすみのときなどは、特に注意してください。

●除菌材は他の目的に使用しないでください。

3 各部のなまえ



本体背面

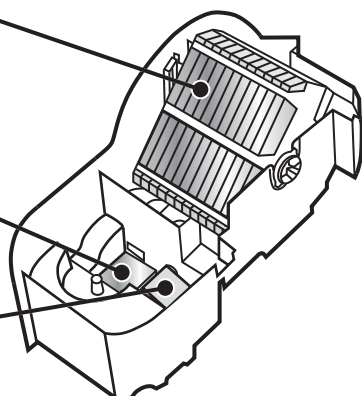


水槽内部

加湿フィルター
(消耗部品)
回転しますので左右の軸を水槽の溝に確実に挿入し、軽く押して回転することを確認してください。

除菌材
水槽内の雑菌の繁殖を抑えます。
試験機開名：(財)新潟県環境衛生研究所
試験方法：浸漬法(試験番号 環研K第799号)

フロート (水検知センサー)
テープなどで固定したり、取りはずしたりしないでください。



加湿フィルターは水槽内で自動的に回転します

- 運転を開始すると、加湿フィルターが回転して垂直位置で止まり、加湿をします。
- 運転中は加湿フィルターが約5分に1回180°反転し、全体を水に浸して、加湿性能を高めます。
- 運転停止時には加湿フィルターが回転し、水平位置で止まります。

操作部

湿度表示ランプ

現在湿度の目安および「省エネ自動」運転の設定湿度を表示します。

乾燥	40	50	60	多湿
約35%未満	約35~45%	約45~55%	約55~65%	約65%以上

「給水」ランプ

加湿運転中、水タンクの水がなくなると点灯し、運転を停止します。(7ページ参照)

切タイマーランプ

切タイマーキーで設定した運転時間を表示します。(7ページ参照)

切タイマーキー

運転をタイマーで自動的に止めたいときに使います。(7ページ参照)

マイナスイオン入/切キー

「マイナスイオン」運転を「入」「切」します。加湿運転中に押すと「加湿+マイナスイオン」運転と「加湿」のみ運転の切り換え、停止中に押すと「マイナスイオン」単独運転の「入」「切」ができます。(8ページ参照)

「マイナスイオン」ランプ

「マイナスイオン」運転のときに点灯します。(8ページ参照)

運転ランプ

「省エネ自動」ランプ、「パワフル」ランプ、「おやすみ」ランプ、それぞれの運転モードを表示します。

運転モード切換キー

「省エネ自動」「パワフル」「おやすみ」の運転モードを選びます。「省エネ自動」運転時に3秒押しと、設定湿度を選べます。湿度表示ランプが点滅し、設定湿度を変更できます。(7ページ参照)

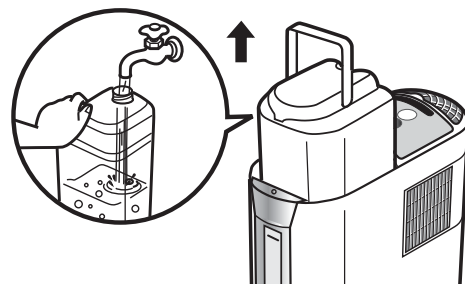
運転入/切キー

運転を「入」「切」します。初めて使用するときや、差込プラグまたはマグネットプラグを抜き差しした後に押すと「省エネ自動」ランプが点灯し、「省エネ自動」運転を始めます。それ以外の場合は、前回の運転モードの表示ランプが点灯し運転を始めます。(6ページ参照)

4 ご使用前の準備

1 給水する

- ①フタをはずして水タンクを取り出し、キャップをはずしてきれいな常温の水道水を入れてください。
- ②キャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。



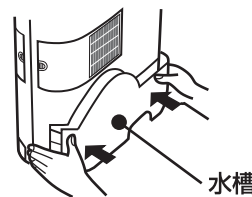
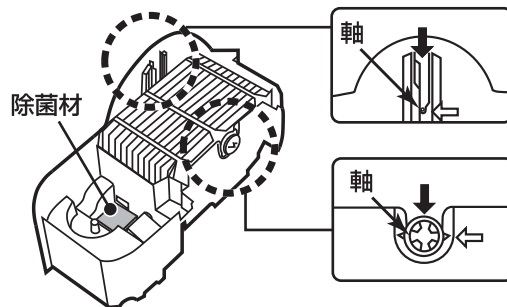
2 水槽内部を確認して、水タンクをセットする

- ①水槽を引き出し、除菌材のセット位置と加湿フィルターの回転を確認してください。(水槽は水タンクを取り出さないとはずれません。)
 - ・除菌材を右図の位置にセットしてください。
 - ・加湿フィルターを軽く押して回転しないときは、加湿フィルターの軸を右図の位置にセットし直してください。
- ②水槽を本体にセットするときは、加湿フィルターを水平にした状態で水槽の両端を両手で押さえ本体の奥まで静かに挿入してください。

※乱暴に水槽を着脱すると水がこぼれ、床を濡らすおそれがあります。

確実にセットされていないと運転入/切キーを押しても「給水」ランプが点灯して運転を開始しません。

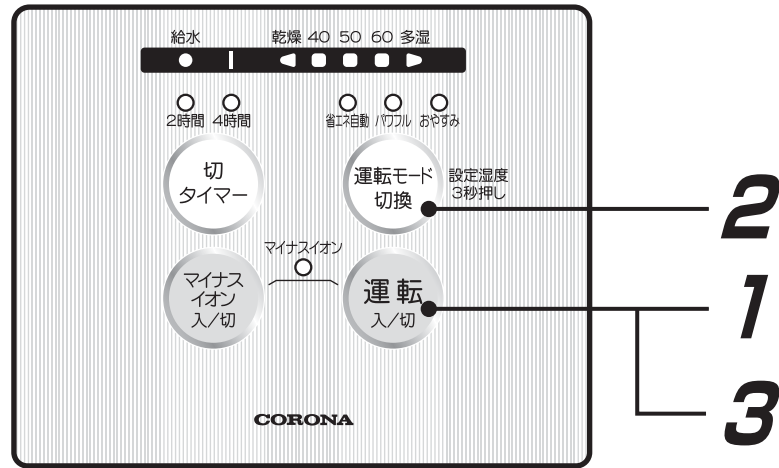
- ③水タンクを本体内に静かに入れ、水タンクのハンドルを後ろに倒し、フタをセットしてください。



3 マグネットプラグを本体のプラグ受けに取り付け、差込プラグを交流100Vのコンセントに差し込む



5 使いかた 「省エネ自動」 運転／「パワフル」 運転／「おやすみ」 運転



「省エネ自動」 運転

あらかじめ設定した湿度を目安として、一定の湿度となるように、ヒーターとファンを自動的にコントロールして加湿量を調節しながら運転します。湿度が高いときはファンが止まります。

設定湿度は、はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は50%に設定されています。

「パワフル」 運転／「おやすみ」 運転

「パワフル」…ファンを強回転し、ヒーターをONにして、湿度に関係なく、強加湿量で連続運転します。
 「おやすみ」…ファンを弱回転し、ヒーターをOFFにして、湿度に関係なく、弱加湿量で連続運転します。
 静かに加湿したいときなどに使います。

「パワフル」 運転、「おやすみ」 運転は湿度のコントロールをしないで運転します。湿度の上がりすぎに注意してください。

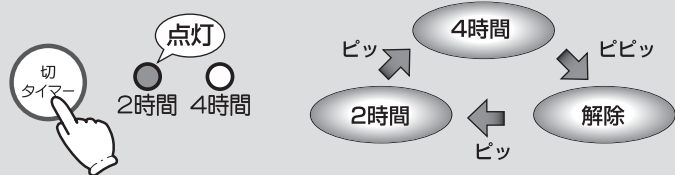
運転と停止

<p>1 運転 入/切 キーを押す</p>	<p>「ピッ」と音がして「省エネ自動」ランプと「マイナスイオン」ランプが点灯し、加湿運転を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スタート後約15秒たつと現在湿度の目安を表示します。 ●水がないときや水槽がセットされていないと「給水」ランプが点灯します。
<p>2 お好みに応じて 運転モード 切換 キーを押す</p>	<p>「ピッ」と音がして運転ランプが切り換わり、お好みの設定ができます。「省エネ自動」「パワフル」「おやすみ」の3つの運転モードから選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はじめてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は「省エネ自動」と「マイナスイオン」が最初に設定されます。それ以外のときは前回は設定した運転モードになります。「マイナスイオン」は解除すると、再運転時には設定されません。
<p>3 停止するときは… 運転 入/切 キーをもう一度押す</p>	<p>すべてのランプが消灯し、ファンが約30秒回転した後、加湿運転を停止します。</p>

切タイマー

設定した時間後に自動的に運転を停止します。

1 運転中に を押して希望の時間に設定する



切タイマーキーを押すごとに「ピッ」と音がして表示が切り換わります。

- 設定した時間後に運転を停止し、ランプもすべて消灯します。
- 切タイマーランプは、運転が停止して消灯するまで、時間の経過に関係なく、設定した時間が点灯を続けます。
- 水タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、「給水」ランプが点灯します。
- 運転停止後差込プラグやマグネットプラグを抜かなければ、再設定時には前回の時間が最初に設定されます。

設定湿度をかえるとき（「省エネ自動」運転時）

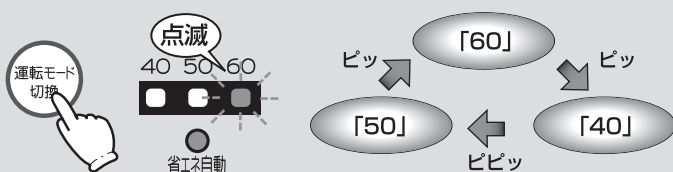
設定湿度の変更は「省エネ自動」運転中のみできます。「省エネ自動」運転の設定湿度は40%、50%、60%のいずれかを選ぶことができます。

1 キーを3秒以上押し続ける



「ピッ」と音がして湿度表示ランプが点滅し、現在の設定湿度を表示します。

2 湿度表示ランプが点滅中に キーを押す



「ピッ」と音がして設定湿度が変わります。お好みの湿度に合わせます。

3 「ピッ」と音がするまで待つ



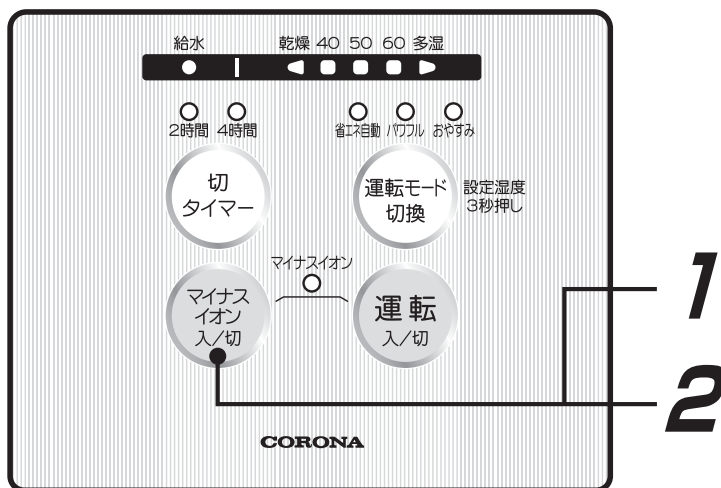
湿度を設定してから約3秒以上そのままにしておくと再度「ピッ」と音がして湿度が確定します。設定湿度の表示（点滅）が消えて現在湿度の表示（点灯）に戻ります。

水がなくなったとき

水タンクの水位が水位窓下端に近づいたら、水タンクに水を補給してください。

- 水タンクの水がなくなると、「給水」ランプが点灯して自動的に加湿が止まります。
- 「給水」ランプ点灯中に、給水した水タンクをセットすれば自動的に加湿を再開します。
- 「給水」ランプ点灯後、約30分ファンが回転します。その後「給水」ランプが消灯し、ファンが止まって運転を停止します。給水後、再度運転するときは、運転入/切キーを押してください。
- 水槽内の水もこのとき捨ててください。水槽内の水は、水道水中の不純物や空気中のほこり、加湿フィルターの抗菌剤などが濃縮されていますのでこまめに捨ててください。（臭いの原因になります。）

「マイナスイオン」 運転



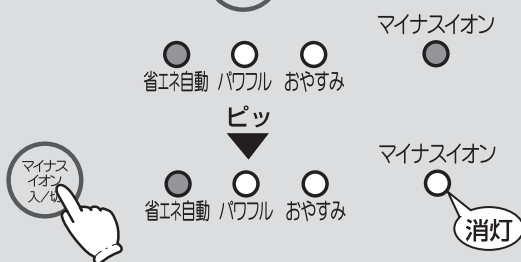
加湿しながらマイナスイオンを発生する「加湿+マイナスイオン」運転と、加湿せずに送風し、マイナスイオンを発生する「マイナスイオン」単独運転ができます。

【加湿+マイナスイオン運転】

初めてお使いになるときや、停電および差込プラグやマグネットプラグの抜き差しをした場合は、運転入/切キーを押すと最初は「マイナスイオン」ランプが点灯して「加湿+マイナスイオン」運転が設定されます。

1 「マイナスイオン」を解除するときは…

運転中に **マイナスイオン入/切** キーを押す



「ピッ」と音がして「マイナスイオン」ランプが消灯し、加湿のみの運転になります。このとき加湿運転の運転モード（「省エネ自動」「パワフル」「おやすみ」）や切タイマーはそのまま続きます。

- 加湿のみの運転中にマイナスイオン入/切キーをもう一度押すと、「加湿+マイナスイオン」運転に戻ります。
- 「マイナスイオン」は解除すると停止後、再運転時には設定されません。

【マイナスイオン単独運転】

1 運転停止中に **マイナスイオン入/切** キーを押す



「ピッ」と音がして「マイナスイオン」ランプのみが点灯し、加湿はせずに「マイナスイオン」単独運転をおこないます。

- 現在湿度表示はしません。
- 水がない状態でも「マイナスイオン」運転をおこないます。水タンクに水を入れる必要はありません。また、「給水」ランプは点灯しません。
- 加湿フィルターと水槽はセットしてください。確実にセットされていないと「省エネ自動」ランプが点滅し、運転しません。このときは運転入/切キーを押して「省エネ自動」ランプを消し水槽をセットしなおしてください。
- パワフル/おやすみなどの切換はできません。
- 切タイマーは加湿運転と同様に設定できます。
- 運転入/切キーを押すと「加湿+マイナスイオン」運転に切り換わります。

2 停止するときは…

マイナスイオン入/切 キーをもう一度押す

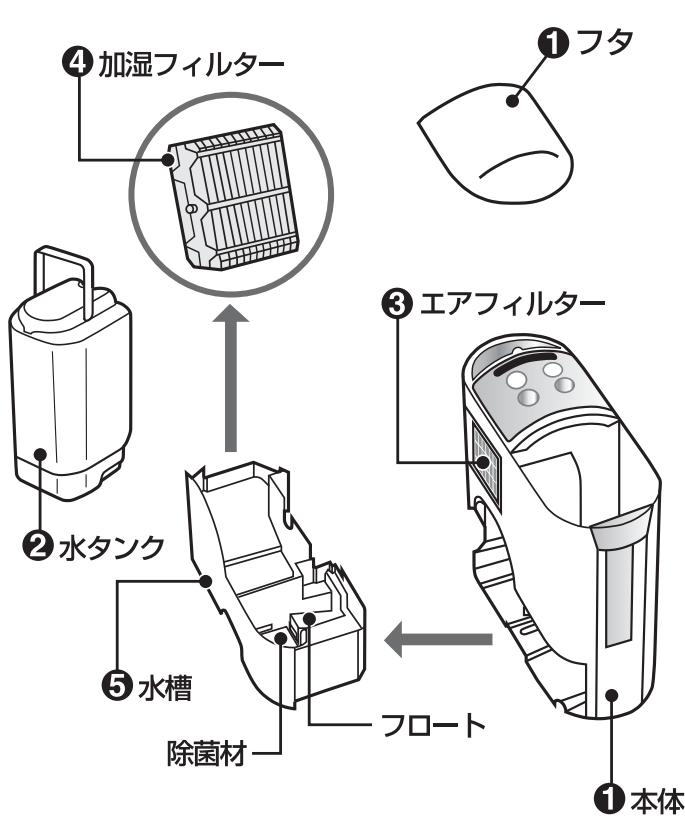
「マイナスイオン」ランプが消灯し、運転を停止します。

6 お手入れのしかた

本体の空気吸込口周辺、水槽回りは汚れやすいため、いつもきれいに掃除しておいてください。

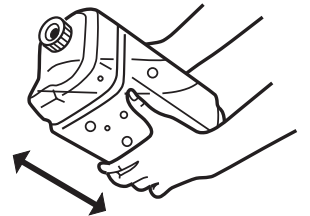
⚠ 注意

- ベンジン・シンナー・みがき粉などではふかない。(変色や変形の原因)
- 水槽を取り出した後、本体内部の金属部に触れない。(けが・故障の原因)
- 必ず運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから(約10分位)お手入れをおこなう。(やけど・けがの原因)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがって使用する。(変色・キズの原因)
- 清掃後は、必ず各部品を元通りにセットする。(やけど・けが・故障の原因)



1 本体・フタの清掃 (1カ月に1回程度)
水を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ってください。

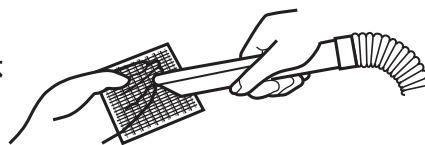
2 水タンク内の清掃 (毎日)
水タンク内に水を半分ほど入れ、キャップを締めて水タンクをよくふり、排水してください。(これを2~3回くり返します。)



3 エアフィルターの清掃 (1週間に1回程度)
本体側面にあるフィルターカバーをはずし、掃除機などでエアフィルターのほこりを取り除いてください。

- ※掃除機でエアフィルターを吸い込まないように注意してください。
- ※水洗いしないでください。フィルターの効果が低下します。

- 汚れがひどくなりますと風の出かたが弱くなったり、正しい湿度検知をしなくなりますので、早めに清掃してください。
- フィルターカバーの内側もぞうきんなどでふいてください。
- 清掃後は必ず本体に取り付けてください。

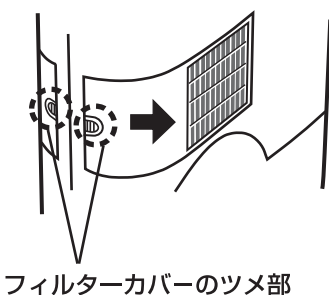


- 右側：抗菌・防カビエアフィルター(黒)
- 左側：抗アレルギーフィルター(青)

フィルターカバー、エアフィルターのはずしかた・取り付けかた

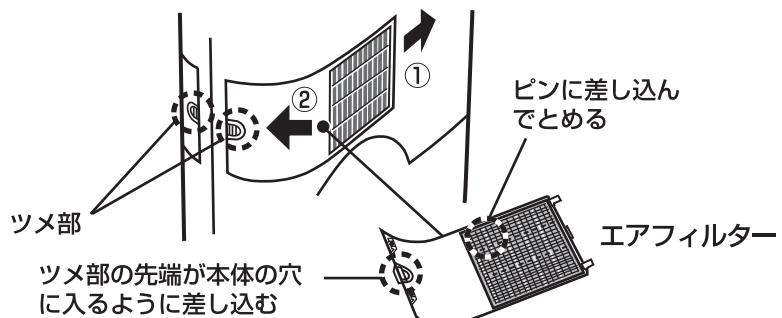
◎はずしかた

- フィルターカバーのツメ部を押して、矢印の方向に引き、取り出す。



◎取り付けかた

- フィルターカバーにエアフィルターを取り付け、①の矢印の方向にツメ部を差し込み、②の矢印の方向にはめ込む。
- ※ツメ部や空気吸込口などに無理な力を加えないでください。特にはずした状態でツメ部を強く押さないでください。(破損の原因)



4 加湿フィルターと **5** 水槽の清掃 (2週間に1回程度)

お願い

●加湿フィルターは分解しない。
(バラバラになり、再使用できません。)

●加湿フィルターや水槽は確実にセットする
(取り付けが確実にないと運転しません。)

●指定以外の洗剤は使わない。
(加湿フィルターが傷んだり、汚れが落ちにくいことがあります。)

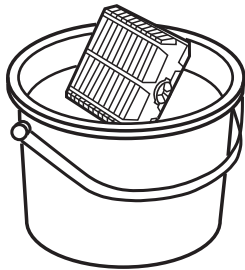
●除菌材は乱暴に扱わない。
(袋がやぶれるおそれがあります。)

- (1) フタと水タンクを本体からはずす。
- (2) 水槽を本体から引き出し、加湿フィルターを上方に持ち上げ取りはずす。
- (3) 除菌材を取りはずす。
- (4) 水槽内の水を捨て、歯ブラシなどでフロート周辺や底部・除菌材の水あか、汚れを落とし、水洗いする。

※水槽内の水が加湿フィルターからの色落ちで薄い緑色になることがありますが、問題ありません。

(5) 加湿フィルターを洗淨する。(換気の良い所でおこなってください。)

①洗剤を入れた水またはぬるま湯に加湿フィルター全体をつけて約30分放置する。
こすったりもみ洗いをすると加湿フィルターを傷めます。



※洗剤水に30分以上つける

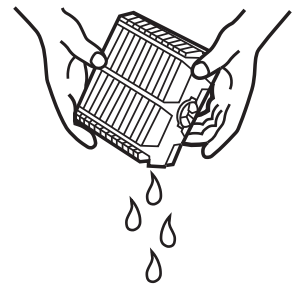
洗剤はつけおきタイプの弱アルカリ性「花王ワイドマジックリン」を使用し、水3Lあたり約23g (キャップ半分)の割合で入れる。

②新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いを2~3回くり返す。



※新しい水ですすぐ

③洗ったあとに加湿フィルターを軽くふって水をきる。



※軽くふって水をきる

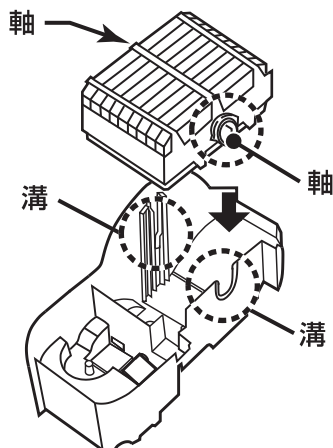
水あか(白や茶色の固まり)が落ちにくいときはクエン酸をご使用ください。

- ①約40℃の湯1Lあたりにクエン酸を約10g(大さじ1杯)溶かし、加湿フィルター全体をつけて約1時間放置する。
(濃度が高いと加湿フィルターが傷んで破損する原因となります。)
- ②新しい水に入れ換え加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いを2~3回くり返す。
(クエン酸の成分が残ると、臭いや故障の原因になります。)
- ③洗った後、加湿フィルターを軽くふって水をきる。
クエン酸は薬局・薬店で市販されているものをご使用ください。
クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。

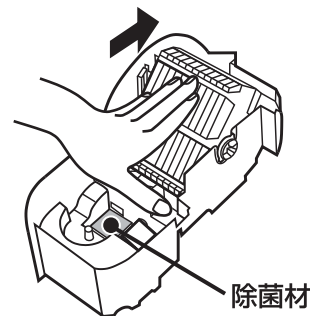
■お手入れのしかた

(6) 加湿フィルターを水槽に取り付ける。

加湿フィルターを水平にして、軸を水槽の溝に確実に挿入します。
加湿フィルターを軽く押して回転することを確認してください。



※軸を水槽の溝に合わせて挿入する。



※加湿フィルターを水平にする。入りづらいときは少し回転する。

(7) 除菌材を取り付ける。

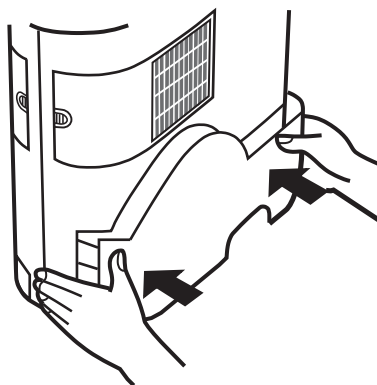
水槽の図の位置に入れてください。

※除菌材の表面が緑色に変色する場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用になれます。汚れは布などでかるくふきとり水洗いしてください。

(8) 水槽を本体に取り付ける。

加湿フィルターを水平にして、水槽を本体の奥まで挿入してください。
取り付けが確実でないと、「給水」ランプが点灯したり、加湿フィルターが回転しなかったりして、運転しません。(水槽が奥まで入りづらいときは加湿フィルターを手で少し回して角度を変えて挿入しなおしてください。)

※水槽を両手で奥まで押し込む。



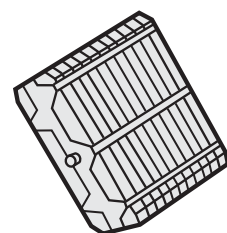
(9) 水タンクとフタを取り付ける。

加湿フィルターの交換(1シーズンに1回)

- 加湿フィルターは消耗品です。1シーズン(約6カ月)を目安に交換してください。

交換用加湿フィルター(型式UF-H8) 希望小売価格2,100円(税抜2,000円)
(価格は2005年9月現在)

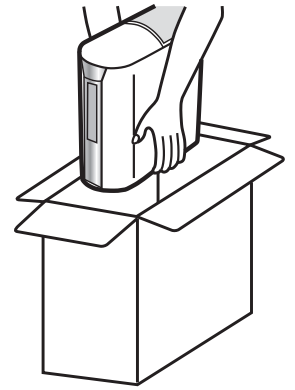
- お手入れしても次のような場合は1シーズン(約6カ月)以内でも交換してください。
 - ・臭い、変色(黒、茶色)、汚れがひどい。
 - ・水あかが厚く固まり、とれない。
- 古いフィルターは燃えないゴミとして廃棄してください。



加湿フィルター

7 保 管

「お手入れのしかた」にしたがいお手入れ・清掃をした後、本体内部の水分をよくふき取り、陰干して十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買いあげ時の箱などに納めて、湿気の少ない所に保管してください。
特に加湿フィルターや除菌材は、カビの発生を防ぐため十分に陰干ししてください。



8 このようなときには

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下表を参考にしてもう一度確認してください。

症 状	点検するところ	処置のしかた
蒸気や霧が出ない、見えない	—	正常です。加湿フィルターに風をあてて、湿った風で加湿しますので、蒸気や霧は見えません。
マイナスイオンが出ない、見えない	「マイナスイオン」ランプは点灯していますか。	「マイナスイオン」ランプが点灯しているときは、マイナスイオンが発生しています。マイナスイオンは目に見えませんが。
運転しない	差込プラグやマグネットプラグがはずれていませんか。	マグネットプラグをプラグ受けに取り付け、差込プラグをコンセントに差し込む。
加湿しない、送風しない	「多湿」ランプが点灯していませんか。	「省エネ自動」運転のときは湿度が高いと送風を停止することがあります。さらに加湿が必要なときは、設定湿度を60%または「パワフル」運転に切り換えてください。
	「給水」ランプが点灯していませんか。	給水をする。
	「マイナスイオン」単独運転を設定していませんか。	キーを押して加湿運転にする。
	加湿フィルターが水槽に正しくセットされていますか。	加湿フィルターをセットする。(5ページ参照)
送風量が少ない	「おやすみ」運転や「省エネ自動」運転を設定していませんか。	「おやすみ」運転や湿度の高いときの「省エネ自動」運転では送風量が少なくなります。「パワフル」運転に切り換えると送風量が多くなります。
	加湿フィルターやエアフィルターにほこりやゴミが多く付着していませんか。	「お手入れのしかた」にしたがい掃除する。
給水しても「給水」ランプが消灯しない	水槽が本体に確実にセットされていますか。	水槽を本体に確実にセットする。加湿運転のときに水槽が本体に確実にセットされていないと、「給水」ランプが点灯します。
	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか。	フロートやその周りを掃除する。
臭いが出る	水が古くなっていたり、加湿フィルターやエアフィルター、水槽内部が汚れていませんか。 水道水以外を使用していませんか。	水槽や水タンクに残っている水を捨て、「お手入れのしかた」にしたがい掃除する。(9ページ参照)
「パワフル」ランプが点滅して運転しない 	本体が極端に傾いているか、転倒していませんか。	本体を起こして キーを押してランプを消灯し、再度 キーを押してください。
「省エネ自動」ランプが点滅して運転しない 	「マイナスイオン」単独運転のときに水槽や加湿フィルターがセットされていますか。	キーを押してランプを消灯し、水槽と加湿フィルターを確実にセットし、再度 キーを押す。
「給水」ランプが点滅して運転しない 	湿度センサーまたは制御回路の故障です。	
「おやすみ」ランプが点滅して運転しない 	制御回路の故障です。	差込プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口一覧表の窓口に表示内容を連絡しご相談ください。
湿度表示ランプがすべて点滅して運転しない 	送風モーターまたはヒーターの故障です。	

9 仕様

(50/60Hz)

型 式	UF-H505R	
電 源	交流 100V 50/60Hz	
加 湿 量 (※1)	(パワフル) 500/480mL/h、(おやすみ) 210/190mL/h	
消 費 電 力	(パワフル) 154W、(おやすみ) 21W	
適 用 床 面 積 (※2)	木 造 和 室	14m ² (8.5畳)
	プレハブ洋室	23m ² (14畳)
タ ン ク 容 量	約4.0L	
電 源 コ ー ド	約1.4m	
外 形 寸 法	幅 145mm × 高さ 355mm × 奥行き 365mm	
質 量	約3.7kg	
別 売 品	交換用加湿フィルター UF-H8	

(※1) 日本電機工業会規格 (JEM1426) に基づき、室温20℃・湿度30%で測定した値です。周囲の湿度が高いときは加湿量が減少します。

(※2) 日本電機工業会規格 (JEM1426) に基づいた目安です。ただし、壁や床の材質、建物の構造などによって異なります。

10 修理・保証

修理サービスについて

- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。くわしくはお買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「このようなときには」(12ページ)を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの4点をはっきりとご連絡ください。

- 型式(品番) } 保証書をごらんください。
- お買いあげ日 } 保証書をごらんください。
- 故障内容
- ご住所・ご氏名・お電話番号

保証書について

- このコロナ加湿器には「保証書」が付いています。(「保証書」はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。)
- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
 - 保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
 - このコロナ加湿器の保証期間は買いあげいただいた日から1年です。
(ただし、加湿フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。)
保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をごらんください。



愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

このような
症状は
ありませんか

- 水漏れがする。
- 本体が異常に熱くなる。
- 運転中異常な音がる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
点検・修理についての費用など、詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。



品番	UF-H505R
★ お 客 様	ご芳名
	ご住所 〒(-) 電話 () -

- 本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがございますので、ご了承ください。

★お買上げ日	年 月 日	★ 販 売 店	住所・店名 電話 () -
保証 期 間	対象部分 本 体 (加湿フィルターを除く) 見 本 期 間 (お買上げ 日より) 1 年		

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
《無料修理規定》をよくお読みください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参の上、お買上げの販売店に依頼してください。
3. 出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
4. ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。
5. ご事情により、本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にお問合せください。
6. 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買上げ後の輸送、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障および損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書の提示がない場合
(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問合せください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打切後6年です。